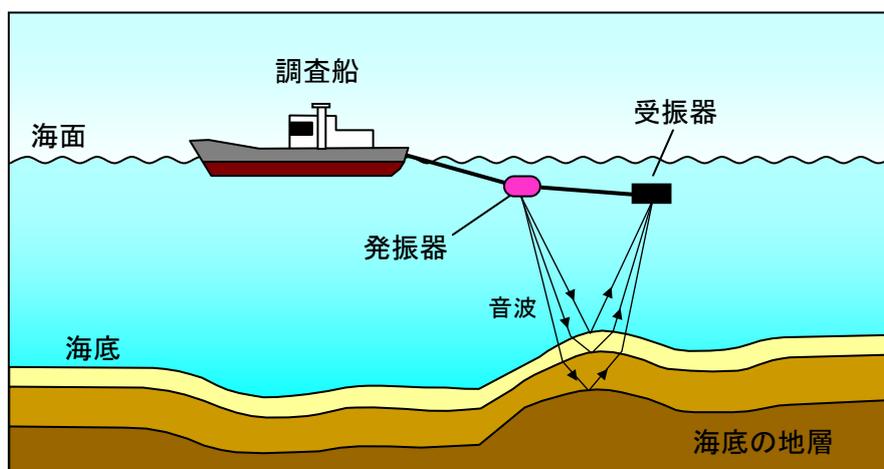


海上音波探査について

海上音波探査とは、調査船により発振器および受振器を曳航しながら海底に向けて一定間隔で音波を発生させ、海底面や海底の地層の境界等で反射した音波を観測し、地層の形状や重なり・連続性など、海底下の地質構造を調べる方法です。

・シングルチャンネル方式の海上音波探査

発振器と1つの受振器を曳航しながら、発振器からの音波を観測する探査方法です。曳航する機器が短いため作業性に優れ、比較的簡便な処理で海底面や海底の地層の形状などを得ることが可能です。日本の周辺海域で活断層の分布を明らかにするために広く利用されてきた方法です。



・マルチチャンネル方式の海上音波探査

発振器と一定間隔に配置された複数の受振器を曳航しながら、発振器からの音波を複数の受振器で同時に観測する探査方法です。曳航する機器が長くなり、調査設備が大きくなることから調査は大がかりとなりますが、同じ地層からの反射波を複数取得することができるため、データを解析することによってノイズが低減され、海底面や海底の地層の形状などがより明瞭に分かるようになりますとされています。

